

# ケニスL.ジェンキンス（ペンテコステ派教会の司祭及び 老 アメリカ合 国）（パ ト2 / 3）

:

明:

一度は り かれた少年がペンテコステ教会を通し、そして20 で司祭に任命されたことにより彼の救  
いを し、 にムスリムとなる。パ ト2「全ての くものが金なのではない」

目:[事新改宗者ムスリムの逸 者と宗教的 威](#)

より: ケニスL.ジェンキンス

日 06 Dec 2009

集日 12 Dec 2009

私は一人の には瞑想し、神が私を正しい宗教に き、もし何か ったことをしていたので  
あれば、自分を赦して下さるよう祈りました。私はそれまで、ムスリムと接触したこ  
とがありませんでした。唯一私が知っていたイスラ ムを彼らの宗教と主 していた人々  
は、多くが"ブラックムスリム"または "ロスト ファウンド ネ ション" と呼ばれたイライ  
ジャ ムハンマドの信者 でした。それは70年代の わりに、指 者ルイス ファラカ ンが"ネイ  
ション オブ イスラ ム "と呼ばれていたグル プを再建していた のことです。私は、同僚  
の招待で指 者ファラカ ンが演 するのを きに行き、そしてそれが私の人生を 的に える に  
なったことに 付きました。私は自分の人生において、他の 人男性が彼のように すのを  
いたことがありませんでした。私はすぐに彼を私の宗教に改宗させようと、彼に会う  
手配をしました。私は彼を改宗させることが しみになりました。私はそれが であろう  
と、迷った魂を つけて地 の 火から救い出すことを望んでいたのです。 -。

私は大学卒 、フルタイムの仕事を始めました。司祭として 点に し、イライジャ ムハン  
マドの信者 のことがもっとよく えるようになりました。私は、 人社会を内外から破 し  
ている を除去しようと みる彼らの努力を めていました。私はある意味で彼らをサポ ト

し始め、彼らの文献を 入し、 のために彼らに会うことさえしました。また私は、彼ら  
が何を信仰しているのかを正 に するために、彼らの勉 会にも出席しました。しかし彼  
らの多くが であることを知るほど、私は、神が 人であるという考えに同意出来ません  
でした。私は、彼らが特定の において彼らの立 をサポ トするために、 を使用すること  
に反 でした。私はこの本を熟知していたので、彼らのその った解 は私を本当に不快な  
思いにしました。私は地域で されている 学校に参加していたので、 研究の 々な分野で  
知 が 富になっていたのです。

その 6年 私はテキサス州に引っ越し、  
2つの教会と提携するようになりました。最初の教会は の浅い、勉 不足の若い牧 により  
指 されていました。キリスト教の 典の私の知 は、この 点で 常ではないものにまで 展し  
ていました。私は の教えに 着していました。私はより深く を べるようになり、その の  
指 者よりもそれについてよく知っていると づいていました。しかし敬意を示すために  
、私はもっと学ぶことが出来ると感じた の町の の教会に参加しました。このある教会  
の牧 は、非常に学 的でした。彼は 秀な教 でしたが、我々の教会 の ない、いくつかの  
考えをもっていました。また彼はややリベラルな 解をもっていました。私は彼の教  
化を しんでいました。私はまもなく、  
"全ての くものが金なのではない "という自分のクリスチャン生活における最も 重な教  
を学びました。その外 にも わらず、そのようなことは思いもよらなかった が教会の中  
にいたのです。これらの は私に深い影 をもたらし、私が奉げた教えに疑 を投げかけ始  
めました。

## 真の教会世界へようこそ

私はすぐ、司祭 に相当の嫉 が横行していたことを しました。物事は、私が れ しんでい  
たことから わってしまっていました。女性は、私が ずかしくなるような服を着てい  
ました。人々は大抵、 性の を引くために着 っていました。私は、金と欲が教会活 の にお  
いて、どれだけ大きな役割をしているのかを知りました。小さな教会の数多くは苦  
しており、彼らは 金を集めるために集会を くことを私 にも求めました。もし教会にあ

る程度の人数がいらないのなら、十分な金 酬を受け取れないので、教の を にしなくてもよいと言われました。そこで私は、自分はお金のためにやっているのではなく、そこに例え一人しかいなくても 教をするだろう、と 明しましたand I' d do it for free! 私は 料でもやるつもりなのです! これは、障害を生みました。私は、知 があると思っ た人 を疑 するようになり、彼らがただの せかけだったことに 付きました。私は、金、力、そして地位は、 についての真 を教えるよりも重要なことだと学びました。

の学生として、私はそこに い、矛盾そして捏造があることをよく知っていました。私は、人々が についての真 について触れるべきだと思いました。 人々を のこのような 面に触れさせるという考えは、サタンに起因すると考えられていました。しかし私は の 授 中公けに、自分の先生に も答えられないような をし始めました。いかにしてイエスは神であるのか? またいかにして彼は神である父であり、子であり、そして からなる一つの存在であるにも わらず、三位一体の一部ではないというのか? しかしそれを 明 できるのは 一人としていませんでした。何人かの牧 はついに、彼らにもそれは理解できないことだが、私 にはただ信じる必要があるのだ、と めなければならなかったのです。不 や 淫があっても、それらは の 象ではありませんでした。ある牧 は 物にはまり、自分 の生活とその家族の生活を破 していました。またいくつかの教会の指 者たちは、同性 者だとわかりました。あまつさえ他の教会のメンバ である若い娘との不 を犯した牧 さえいました。私にとってまともに思えた に する回答を得られなかったことと、これら全ての出来事は混じり合い、私に 化を求めさせました。そしてその 化は、私が サウジアラビア王国での仕事を受け入れた にやってきたのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/72>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。